

収支決算書

団体名： _____

補助事業名： _____

1 収入の部

項 目	予算額	決算額	備 考
参加費	円	円	
市補助金	円	円	
その他収入	円	円	
計	円	円	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	備 考
使用料・賃借料	円	円	
消耗品費	円	円	
印刷製本費	円	円	
交通費（燃料代）	円	円	
講師謝金	円	円	
その他必要と認められる経費	円	円	
計	円	円	

<収入> - <支出> =

記入例

11 収支決算書

収支決算書

団 体 名 : 交付申請書と同一
 補助事業名 : 事業計画書の活動名と同一

団体名 : _____
 補助事業名 : _____

1 収入の部 (3)

項 目	予算額	決算額	備 考
参加費			
市補助金			
その他収入	(1)		
計			

2 支出の部 (2) (4)

項 目	予算額	決算額	備 考
使用料・賃借料			
消耗品費			
印刷製本費			
交通費			
講師謝金			
その他必要と認められる経費			
計			

会場借上げ料及びバス借り上げ料等

材料代、キャンプ等の食材代、文具等

項目が不明なものは、生涯学習課担当者を確認するか、「その他必要と認める経費」に記入

<収入> - <支出> = 円 - 円 = 円 (5)

- (1) 収支予算書の金額をそのまま記入
- (2) 実際にかかった費用を記入
- (3) 「市補助金」は、決算額の総額の2分の1(5万円上限)を記入
補助金交付決定額を超えないものとする。
- [例]
- (参加費や売上金等による収入がない場合)**
- ① 総額が2分の1で割り切れる場合 : 総額87,500円 → 市補助金は87,500円 ÷ 2 = 43,750円
- ② 総額の2分の1が割り切れない場合 : 総額87,425円 → 市補助金は87,425円 ÷ 2 = 43,712.5円 ⇒ 43,712円(1円未満切捨)
- ③ 総額が10万円超の場合 : 市補助金は上限額の5万円
- (参加費や売上金等による収入がある場合)**
- ④ 参加費や売上金等の収入が、総額の2分の1の金額を上回る場合
 総額87,500円(2分の1の金額43,750円)、売上金45,000円 → 市補助金は87,500円 - 45,000円 = 42,500円
- ⑤ 参加費や売上金等の収入が、総額の2分の1の金額を下回る場合
 総額87,500円(2分の1の金額43,750円)、売上金20,000円 → 市補助金は87,500円 ÷ 2 = 43,750円
- (4) 各費目で領収書が複数枚発生した場合、備考欄に各領収書の概要、金額を記入
 例) 消耗品費で2枚の領収書が発生した場合
- ① 食品代: 7,568円
- ② 飾りつけ材料代: 3,598円
- 領収書が1枚のときは、但書の内容を記載
- (5) <収入> - <支出> = 0円となるように、収入の部と支出の部それぞれの決算額を記入
 例) <収入> - <支出> = △円 - △円 = 0円